

各地の話題 登米市

5年ぶり恒例の丸焼き復活

2024年9月6日号掲載



登米市南方町で令和2年から新型コロナウイルスの影響で中止されていた「みなみかたもっこり牛まつり」が「みやぎとめ牛まつり2024」と名称を変え8月11日に開催された。

祭りの目玉は市内産牛の丸焼き。約1,000人に無料の試食が行われ、開会前から長蛇の列ができた。登米市迫町から家族で来ていた佐藤さゆりさんは「登米市の牛肉を食べる機会は少ないが、今日をきっかけに増やしていきたい」と試食の牛肉を食べながら話した。

新型コロナウイルスは感染症五類に移行したが、食事の提供は行わないほうがいいのではないか、という意見もあり、開催について慎重に協議を重ねた。実行委員長の遠藤^{ゆうこう}祐幸さんは「畜産農家に限らず、農業者は資材の高騰と価格の低迷で苦しい状況が続いている。我々が作る農畜産物は、安全で安心して食べられるということをPRしたかった」と話す。

市の肉用牛は県内一の生産量を誇り、肉質等級は最高ランクの5に格付けされるほか基準を満たしたものが「仙台牛」として出荷されている。

【記事提供】登米市農業委員会

牛の丸焼き（画像左が遠藤実行委員長）



試食を手にする佐藤さん家族

